

平成28年7月22日

大阪市民病院機構法人運営本部事務局

辻 村 総務課長

(電話 06-6929-3625)

### 大阪市立総合医療センターにおける個人情報漏えい事故について

元総合医療センターの医師（30歳男性、当時、後期研修医）が「退院・転科サマリー」のコピー（506名分）を無断で持ち出し、タクシーへの置き忘れる事案がありました。

下車後、すぐにタクシーの運転手が置き忘れに気付き、直ちに天王寺警察署へ届け出たことからそれ以上の個人情報の流出には至りませんでした。

今回の件で、患者ならびに市民の皆様には、ご心配をおかけしましたことを深くお詫び申し上げます。今後このような事故を繰り返さぬよう再発防止に取組み、皆様の信頼回復に努めてまいります。

#### 1 発生日時

平成28年7月22日（金） 午前1時すぎ

#### 2 発生場所

大阪市中央区久宝寺2丁目 タクシー車両内

#### 3 概要と経過

平成27年3月31日付けで総合医療センターを退職した医師（30歳男性、当時、後期研修医）が、専門医の登録申請のため、「退院・転科サマリー」のコピー（566名分）を退職日に無断で持ち出し使用していました。

平成28年7月22日（金）午前1時過ぎ、現勤務先で作業した後、まとめきれなかった506名分の「退院・転科サマリー」のコピーを自宅で作業するために持ち帰ったところ、タクシー車内に置き忘れました。

#### 4 再発防止策

当機構における患者情報の取り扱いについては、「個人情報漏えい事故防止マニュアル」作成し、職員に対し、「データ持ち出しの原則禁止」等のルールを定めておりますが、退職予定者に対しても、再度持ち出し原則禁止の徹底を図るとともに、マニュアルを順守させるよう周知してまいります。